



発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.829



平成30年度 第54回
小諸市児童生徒新年書初め展 表彰式

2月3日(日)に小諸市文化センターで開催された今年度書初め展表彰式より

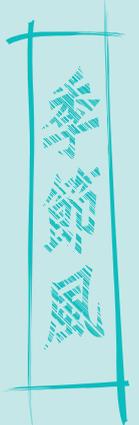
❖内容	16	特集	第54回小諸市児童生徒新年書初め展	20	報告	第7回邦楽のつどいと箏・尺八鑑賞会
	18		『ぼくとわたしの作品』(水明小学校)	21		『今 支館・分館では』(芝生田分館)
		ご案内	虚子・こもろ全国俳句大会		お知らせ	文化会館スケジュールなど
	19		『えんぴつリレー』			
			『俳句・川柳』(渚会/柳好会)			

3月3日は桃の節句。女の子の健やかな成長を願うお祭りですね。お正月が過ぎた辺りから雛人形のちらしも多く目に付くようになってきました。

私が子どもの頃の雛人形は五段や七段飾りがほとんどでしたが、最近ではコンパクとな雛飾りが主流になってきているようです。娘の雛人形は私の時が段飾りだったこともあり五段飾りをお祝いしていただいたのですが、自分自身が「飾る側」になってみると人形の出し入れが大変なこと。両親が「大変なんだから手伝いなさい」と言っていた気持ちもよくわかります。

娘も小さい頃は、飾られた雛人形を見て「おひなさまキレイー」と言っていた甲斐があるので、苦労しても飾った甲斐があったのですが、幼稚園に通うようになった頃から「ようか、突然「おひなさまコンパクト」に変わってしまった雛人形に寄り付かなくなってしまいました。理由「生きていくみたい」と言っていたように記憶しています。私自身も幼かったです。雛人形が怖かったです。

今では雛人形を飾ることはなくなりましたが、暗い箱の中から出して飾ってあげないといけないですね。



第54回 小諸市児童生徒新年書初展

新年への希望や決意を表現することにより、健全な精神の育成を進め、小諸の書芸文化の発展を目的に、本年も児童生徒新年書初め展を開催しました。開催日の2月1日(金)～3日(日)には大勢の皆様にご来館いただきました。今年は544点の応募があり、その作品の中から市長賞をはじめとする特別賞に10点、特選に24点が選ばれました。

特別賞

作品寸評 成沢臨舟先生

市長賞 小諸東中学校

二年 佐藤 璃音

新たな目標
佐藤 璃音

温和な線と端正な字形に心和む、初春の陽だまりのような暖かみを感じ、品のある作品となった。

市議会議員賞 小諸東中学校

一年 大谷 優

将来の夢
大谷 優

新春に相応しい清澄で、気品が高く、柔和で伸びやかな線と余白が実に美しい秀作となった。

教育長賞 小諸東中学校

三年 小林 楓

澄心静慮
小林 楓

墨量豊かで、どっしりとした雄大な筆運び、重厚で風格のある堂々の力強い作品となった。

公民館長賞 坂の上小学校

六年 五十嵐 つぐみ

宇宙旅行
五十嵐 つぐみ

子どもらしく、夢の世界を気負いのない平静な書きっぷりがよい、今後への期待大である。

特選

- 美南ガ丘小学校 三年 跡部 志
- 立科小学校 三年 小池 奈
- 坂の上小学校 三年 佐藤 登
- 美南ガ丘小学校 三年 依田 実
- 美南ガ丘小学校 三年 米田 香
- 井出 葵
- 大井 葵
- 中巻 葵
- 八巻 葵
- 池田 葵
- 春原 葵
- 美南ガ丘小学校 五年 未
- 佐久平浅間小学校 五年 蘭
- 東小学校 四年 蒼
- 水明小学校 四年 蒼
- 美南ガ丘小学校 五年 蒼
- 美南ガ丘小学校 五年 蒼



文化協会 会長賞 美南ガ丘小学校

五年 柳田結佳
正月の朝

暖かみのある柔らかな線で、バランスのとれた字形、落ち着いてゆつたりと丁寧な書けた。

五年 柳田結佳

校長会 会長賞 坂の上小学校

四年 土屋心音
生きる力

紙面いっぱいにも大きく、骨格もしっかりと力強く、安定感に満ちた立派な作品となった。

四年 土屋心音

書芸連盟 会長賞 美南ガ丘小学校

六年 北沢彩夏
強い信念

たっぷり墨を付け書いた強い信念に生命力が宿る、名前が一段と作品を美しくしている。

六年 北沢彩夏

青少年育成会連合会 会長賞 野岸小学校

五年 美濃七星
正月の朝

一点一画を正しい筆遣い、丁寧に書いている、線質にも力強さが溢れ良い作品となった。

五年 美濃七星

社会福祉協議会 会長賞 水明小学校

三年 神谷たく実
つよいい心

初めての太筆で暖かみのある優しい線、一生懸命書いている姿が見え、明るく美しい作品となった。

三年 神谷拓実

商工会議所 会頭賞 佐久平浅間小学校

三年 佐藤史穰
美しい心

小3とは思えない気骨ある字形、筆の穂先まで神経の行き届いた線質がよい、安定感抜群の作。

三年 佐藤史穰

美南ガ丘小学校

五年

向井

悠真

野岸小学校

六年

小林

佳

坂の上小学校

六年

小山

佳

美南ガ丘小学校

六年

佐々木

菜

東小学校

六年

三上

香

美南ガ丘小学校

六年

柳原

葉

荻原中学校

一年

荻原

楓

小諸東中学校

一年

畑

琴

小諸東中学校

二年

田中

万

荻原中学校

二年

田中

々

小諸東中学校

三年

嶋田

未

※【出品資格】市内に居住する児童生徒、市内の学校・書塾へ通学する児童生徒

三年

土屋

珠



僕にとって、稲かりは二回やったことがありました。しかし田植えは人生で初めてでした。「お米の学習」ではいろいろ思い出ができました。一番心に残っているのは田植えです。田んぼの中にはたくさんのお虫がいると聞いていて、こわがりながら入りました。



5年1組
たかはし ゆうと 高橋 佑知

『米作り』



この日はとても寒くこごえてしまいました。水もととても冷たく足がこおりそうな感じでした。苦勞して田植えをしました。



運動会が終わわり、気がぬけてのんびりと過ごしていたほくでしたが、今日は学校で稲かりがありました。ほくはほんじたくをして、田んぼに集合して、関先生から稲の切り方、ひものしぼり方やどれぐらいたまたらひもでしぼるのかを、くわしく教えてもらいました。いよいよ稲かり本番です。最初は友だちがかつた稲を結ぶ係でした。しばらくして交代の合図があり、今度はほくが稲をかる番になりました。稲をかってみると、大きく、しっかり成長しています、かるのがものすごく大変でした。でもとても楽しい稲かりになりました。



5年2組
さとう 義人 佐藤 義人

『初めての稲かり』

初めてだったのできんちようしましたが、楽しい田植えになりました。かかし作りや脱くなどもしました。これもみんなの努力のおかげだと思います。多くの方にお世話になったおかげでおいしいお米がとれました。

この週の週末に遠くはなれた岩手県に住む、おじいちゃんとおばあちゃんの家で稲かりをしました。手伝いのためにたくさんのお親せきが日本各地から集まりました。ほく達が一番早く岩手県に着きました。そしてついたらすぐに、稲をかりに田んぼへ行ききました。よく見ると稲の根本の方には、ダンゴ虫やワラジ虫、クモやんとう虫などが住んでいました。ほくととうちゃん稲をバサバサかると、虫たちがびっくりして逃げまわっていました。

しかし、調子にのりすぎたのか、油断したのか「ガリガリバリ」とものすごくいやな音がしました。ほくの小指から、血がポタポタとたれはじめました。ほくはびっくりして、ただ血が流れるのをボーっと見ているだけでした。軍手をしなかつたために、稲をかるのではなく、指をバツサリと切ってしまいました。

これは、人生の良い経験にもなりました。学校の稲かりも、岩手の稲かりも楽しく成長する良い経験となりました。

第20回 虚子・こもろ全国俳句大会

— 講演会・表彰式のご案内 —

「虚子・こもろ全国俳句大会」の表彰式を行います。あわせて開催される当日句会（**席題揭示 8:30**）では特別選者の選句により、入賞者には記念品が贈呈されます。

当日は無料シャトルバスが運行します。皆様のご参加をお待ちしております。

□日時・場所 **4月29日(月・祝)** / ステラホール (小諸市役所隣)

【講演会】 午後1時から (午後2時から『きらら会』歓迎演奏)

— 講師 玉藻主宰 星野高士 先生 —

【表彰式】 午後2時30分から

※日程・内容については変更となる場合があります

▼問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習係 ☎ 22-1700



高濱虚子



No. 144

『瓦に魅せられて』

原村区 渡邊 猛夫

瓦といえますと、誰でも家の屋根に載っている瓦を連想すると思います。

子供の頃は、低い瓦屋根に上っては瓦がずれるとしか知られたものでしたが、なんとなく漠然としたものでした。

学校を卒業し瓦施工の仕事に就くようになり、施工の難しさに四苦八苦しながらも、段々と関心が出てきた記憶があります。神社やお寺それから学校などにも葺いてあり、「いろいろな所に瓦があるな」と感心もしました。屋根の形もいろいろあり、「直線の屋根」から「反った曲線直線の交り合った屋根」など、その多彩さに興味が増したも



鬼瓦

のです。

特に鬼瓦はいろいろな形と大きさ、鬼瓦の背には鯢しやちほこがついていたり。そういえば鯢といえは名古屋城の金の鯢が有名だなぁと思いつつながら鯢を取り付けるも、親方から「ただ付けるのではないよ」なんて指摘を受け「何ですか？」と不思議だったりましたが鯢にも雄雌があるということでした。でも、どっちが雄でどっちが雌なのかわからなくて、顔を見て口が開いている方が雌口が閉じてる方が雄だと教えてもらいました。神社の入口の狛犬と同じで阿吽あうんにするのですねえ。

阿吽と言えば、「阿吽の呼吸」という昔からのことわざがあつたなあと、いろいろ勉強もするようになりました。

阿吽はサンスクリット語で仏教からきている呪文の1つらしいこと、また調べていくと瓦もサンスクリット語のカタパラが変形しながら「かわら」になったという説もあると講演で聞いたことがあります。瓦も仏教と共に地方にひろがってきたようです。

もともと、瓦は朝鮮から約



1400年前の屋根瓦

千四百年前に日本に来て、奈良の飛鳥寺に瓦博士の指導のもと瓦が葺かれました。その後現在の元興寺というお寺に移転になり、そこは千四百年前の瓦を数百枚位使つて葺いてあり、それが現在も実在しているという事実に驚き、奈良の元興寺に何年前か前に行つてきました。現在も屋根に載つて建物を風雨から守っています。歴史の重みを感じました。

粘土を水で練つて火で焼いて作る「瓦」。まさに人が自然に手を加え形成してきた物心両面の成果であり、特に人間の精神的な生活にかかわるもの日本の文化と言えるのではないかと思える今日この頃です。

今回執筆いただいた渡邊猛夫さんは、卓越した技能を持ち、その分野で県下第一人者と言われる、「信州の名工」(平成30年度卓越技能者知事表彰)を受賞されました。



渚

会

● 泣虫の息子婚約雪間草

大草 通則

● 松ぼっくり春の日差しにほかほかと

田中 利子

● 背高の父似の娘冬木の芽

那須野 房子

● マリンバの音色コロコロ冬ぬくし

林 めづ子

● 春めくや鋤き返されし土の艶

渡邊 実早恵

● ボロボロと名付け鶯呼ぶ雪催

大池 信子



柳

好

会

● 来る年も生きろ生きろと除夜の鐘

荻原 榮子

● 不器用で秘密抱いてる薬指

桜井 眞紗子

● 食べ過ぎてさっぱり味が受けている

中山 紀子

● 花道が浮き沈みするひとり酒

小林 游峰

● 予報士が命大事にせよと告げ

油井 邦子

● ふくらんだ蕾を蝶も蜂も待つ

井出 秀夫

— 音楽のまち・こもろ —

第7回 邦楽のつどいと 箏・尺八鑑賞会



この催事は、宝くじ助成金により、平成30年度コミュニティ助成事業「地域の芸術環境作り助成事業」として実施いたしました。



爽やかな冬晴れとなった1月12日(土)に、小諸市文化会館自主事業「音楽のまち・こもろ 第7回邦楽のつどいと箏・尺八鑑賞会」が、小諸市文化会館ホールで開催されました。

このイベントは、三曲(箏・三弦・尺八)が中心となり、山田流四代目家元萩岡松韻先生や琴古流尺八三代目青木鈴慕先生をはじめ、一流の特別出演者を招いて5年に一度開催されています。

当日は、特別出演者と多くの市内文化団体の皆さんが、部門の枠を超えて一堂に会し

- (1) 六段の調
- (2) 茶の湯音頭
- (3) 尺八本曲 三谷菅垣さんやすがき
- (4) 詩吟(書道吟・華道吟)
- (5) 箏・尺八鑑賞曲
(尺八本曲「鶯鶴慕」・箏曲「寿くらべ」そうくらべ)
- (6) 箏曲「さくら」
- (7) 詩吟(第30回短詩型文学祭小中学生優秀作品一般特選作品)
- (8) 童謡(唄・舞踊)「花嫁人形」「十五夜お月さん」「花かげ」
- (9) 端唄(舞踊)「初春」「春雨」
- (10) 舞踊「信夫の里」
- (11) 都の春

など、多種多様な舞台披露があり、日本古来の邦楽をはじめ、伝統文化をお楽しみいた

だきました。

また、(6)箏曲「さくら」では、キッズおこと教室(文化庁伝統文化親子教室事業)で稽古に励んでいた小中学生による箏の演奏、(7)詩吟では、市内の小中学生が吟者となり、第30回短詩型文学祭小中学生優秀作品の俳句の披露、(8)童謡では、東小ワクワク大夢おことクラブの児童の皆さんによる見事な箏の演奏など、多くの小中学生の皆さんにも出演していただきました。

出演者がお互いの芸を融合させることによって、素晴らしい音色・声・音楽が会場全体に響き渡り、出演者にも観客にも笑顔があふれ、日本固有の美を満喫したひとときとなりました。



今支館・分館では

明治から続く1月1日の
「四方拝」

高齢者に座布団贈呈
— 芝生田分館 —



多古神社に向い拝礼

芝生田区では、毎年元日に区内の隣組長や代議員、招待客などが公民館に集まって「四方拝」を行っています。記録では、明治40年頃から始ま

っているそうである。1年の豊作と無病息災を祈り、区内にある多古神社の方向に向かって参加者全員で拝礼を行います。招待客はその年に70、80、90歳を迎える人です。明治時代には記念品として男性に草かき女性に針箱を贈っていました。だが、大正時代から賀状と合わせて、当時貴重だった座布団に



賀状を手渡す

編集委員 遠藤 武司

なり、現在も続いています。今年52人が対象で、90歳が4人、80歳が17人、70歳が31人。進行役が名前を読み上げた後に、生まれた年の出来事も紹介されました。90歳の人が生まれた昭和4年は、月の平均給料が40円の時代。平均寿命は42・9歳だったそう。会場からは驚きの声があがっていました。また、80歳の人が生まれた年は、大相撲で双葉山の連勝が69勝で止まり、座布団のほかに酒瓶や火鉢が飛び交ったそうです。柳澤恵二区長は「戦後の大変な時代を生き、培われた知識や行動力で芝生田の発展に大きく貢献してくれた世代」と話していました。

こんにちは、小諸市文化協会です！

小諸市文化協会は、昭和63年5月に発足し、昨年創立30周年を迎えました。現在は13部門、66団体、会員約750名の団体で、主に文化発展や技術向上、育成などを目的に活動しています。例えば、部門ごとに講習会、講演会などの開催、華道展、美術展、写真展も開催しております。会員以外の方も参加できる美術館、博物館などを巡る芸術ツアー（6月）、短歌、俳句、川柳を投稿していただく短詩型文学祭（12月）、も毎年開催しております。ご興味のある方は是非ご参加ください。

加盟するには…

- ・ 3名以上の文化団体で活動していること
- ・ 所定の入会届を提出すること

常任理事会を経て、正式登録



加盟団体になると…

- ・ 小諸市公民館の会場使用料が無料（冷暖房費 別）
- ・ 講演会／講習会開催の後援、補助制度あり
- ・ 入会金なし（年会費1人300円）

詳しくは、文化協会事務局 ☎0267-23-8880（小諸市文化センター内）まで

文化センター 貸館受付開始日

【公民館・こもろ女性の家】	2019年5月利用予約	3月1日(金)
(貸出備品含む)		
【乙女湖体育館】	2019年9月利用予約	3月1日(金)
【文化会館】	2020年3月利用予約	3月1日(金)

小諸市文化会館 3月スケジュール

日時	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
3/2(土)	13:30	大合奏スペシャル	野岸小学校	0267-22-0463